

二脚鳥居支柱 系木なし

正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱丸太	末口径4.5~6.0cm L=1.8m
控丸太	末口径4.5~6.0cm L=0.6m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

*結束は鍍掛け(裏ニ文字型)とし樹木結束は、鍍掛け割掛け共3回、支柱結束は鍍掛け3回、割掛け2回とする。

三脚鳥居支柱

正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱丸太	末口径4.5~7.5cm L=1.8m
控丸太	末口径4.5~7.5cm L=0.6~0.7m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

*結束は鍍掛け(裏ニ文字型)とし樹木結束は、鍍掛け割掛け共3回、支柱結束は鍍掛け3回、割掛け2回とする。

四脚鳥居支柱

正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱丸太	末口径4.5~7.5cm L=2.0~2.1m
控丸太	末口径4.5~7.5cm L=0.6~0.9m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

*結束は鍍掛け(裏ニ文字型)とし樹木結束は、鍍掛け割掛け共3回、支柱結束は鍍掛け3回、割掛け2回とする。

八脚樹唐竹支柱

正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱青竹	12本束 L=1.6~2.5m
控青竹	12本束 L=0.7m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

*竹はすべて節止めとする。
*シュロ縄は水につけ、2本合わせて、3回巻以上の鍍掛けとする。
*鉄線(垂鉛メッキ鉄線#18)は3回巻以上の鍍掛けとする。

八脚樹丸太支柱

正面図 S=1/50 側面図 S=1/50 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱丸太	末口径4.0~6.0cm L=4.0・6.0~7.0m
控丸太	末口径4.0~5.0cm L=0.6m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

*結束は鍍掛け(裏ニ文字型)とし樹木結束は、鍍掛け割掛け共3回、支柱結束は鍍掛け3回、割掛け2回とする。
*幹周35cm以上とき、杉支柱丸太は、L=6~7mとする。

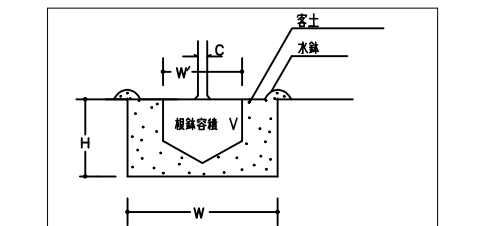
生垣支柱

正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 平面図 S=1/30

材料	形状寸法
支柱丸太	末口径4.5~7.5cm L=2.1m
控丸太	末口径4.5~7.5cm L=0.6m
杉皮	
シュロ縄	6m/m
垂鉛引鉄線	#18
洋釘	JIS 5508 #8 L=10cm

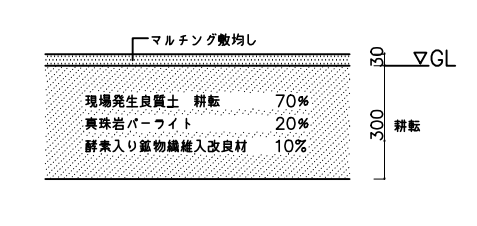
*結束は鍍掛け(裏ニ文字型)とし樹木結束は、鍍掛け割掛け共3回、支柱結束は鍍掛け3回、割掛け2回とする。

客土明細表



樹木形状寸法別客土明細表(一般用)	客土量明細書 A<D>型									
	C	W	H	V	根鉢容積	残土処理水鉢敷均	客土量	掘削土使用量	活性堆肥使用量	残土処理
樹木形状寸法	幹まわり(樹高)(cm以上~cm未満)	植穴径	植穴深さ	植穴容積	根鉢容積	残土処理水鉢敷均	客土量	掘削土使用量	活性堆肥使用量	残土処理
低木	1	(0.30~0.50)	0.29	0.23	0.0150	0.0010	0.0140	0.0126	1.40	0.0014
	2	(0.50~0.80)	0.37	0.28	0.0300	0.0040	0.0260	0.0234	2.60	0.0026
中木	3	(1.00~1.50)	0.46	0.35	0.0570	0.0080	0.0490	0.0441	4.90	0.0049
	4	(1.50~2.00)	0.54	0.40	0.0900	0.0130	0.0770	0.0693	7.70	0.0077
	5	(2.00~2.50)	0.61	0.46	0.1330	0.0220	0.1110	0.0999	11.10	0.0111
	6	(2.50~3.00)	0.69	0.51	0.1880	0.0320	0.1560	0.1404	15.60	0.0156
高木	7	~10	0.69	0.37	0.0900	0.017	0.073	0.066	7.3	0.007
	8	10~15	0.75	0.40	0.140	0.028	0.112	0.101	11.2	0.011
	9	15~20	0.87	0.46	0.270	0.061	0.209	0.188	20.9	0.020
	10	20~25	0.99	0.53	0.440	0.110	0.330	0.297	33.0	0.033
	11	25~30	1.11	0.59	0.650	0.170	0.480	0.432	48.0	0.048
	12	30~35	1.17	0.62	0.760	0.210	0.550	0.495	55.0	0.055
	13	35~45	1.41	0.75	1.340	0.400	0.940	0.846	94.0	0.094
	14	45~60	1.71	0.90	2.280	0.740	1.540	1.386	154.0	0.154
	15	60~75	2.07	1.09	3.700	1.320	2.380	2.142	238.0	0.238
	16	75~90	2.43	1.28	5.450	2.080	3.370	3.033	337.0	0.337
備考	90~105	2.67	1.42	7.940	2.540	5.400	4.860	540.0	0.540	
	105~120	2.89	1.49	9.760	3.370	6.390	5.751	639.0	0.639	

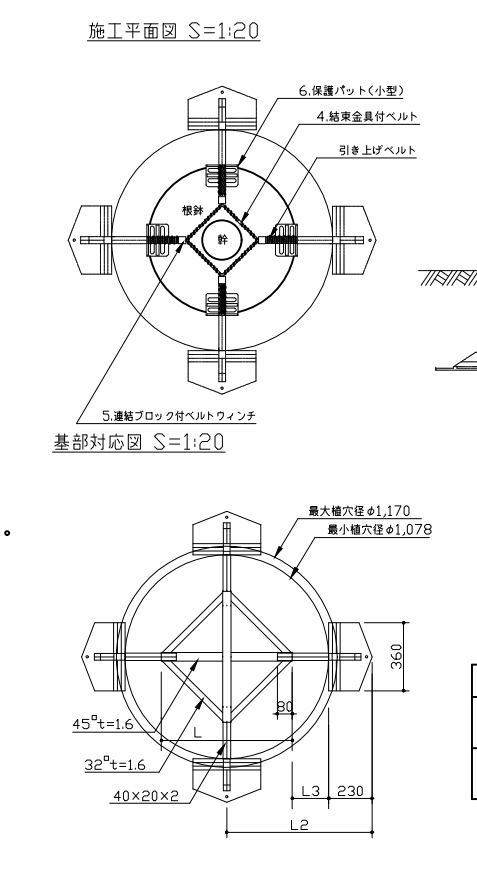
改良工A 1m2当たり



客土工 特記

*本工事で、高木および中木等については、別記の植え穴改良を施すこと。低木及び地被類(宿根草を含む)については、面改良(改良工A)を行うこと。低木・地被類を植える箇所には、マルチングを施すこと。低木・地被類を植える箇所の中に高木がある場合、高木足元にもマルチングを施すこと。但し、張芝、種子吹き付け箇所、宿根草吹き付け箇所等を除く。事前に、監督員の指示に従い、マルチングする箇所を確定すること。

地下式支柱



植栽詳細図

NO.	部品名	数量
1	グラウンドキーパー(1型)	1
2	スライドアンカー(1型)	4
3	引き上げアジャスター	4
4	結束金具付ベルト	1
5	連結ブロック付ベルトウィンチ	4
6	保護パット(小型)	4

H	C	L	L2	L3
5.5まで	0.35まで	618	734	195
8まで	0.6まで	941	1045	345